

地域医療構想推進シート（参考例）

- 平成29年度中を目途に作成し、毎年定期的に行われる調整会議における協議結果等を踏まえ、更新(追加、修正)していくイメージ。
- 本様式は「参考例」であり、地域の実情に応じて項目を追加しても差し支えありません(項目の削除は不可)。

平成 29 年度

区域名



1 地域医療構想の実現に向けた取組の方向性

医療機関の機能(診療科)や体制(救急医療体制等)が一部重複していることによる役割分担等に向けた取組	現状・課題	各圏域の構想やアンケート調査の結果等に基づき入力
	目指す姿	現状・課題の内容を踏まえ、圏域として目指す姿(方向性)を記入
急性期医療を受けた後の患者の受け皿となる医療機能(回復期病床)の確保に向けた取組	現状・課題	各圏域の構想やアンケート調査の結果等に基づき入力
	目指す姿	現状・課題の内容を踏まえ、圏域として目指す姿(方向性)を記入
限られた医療資源(病床や医療従事者等)を有効に活用するための医療機関の再編・ネットワーク化に向けた取組	現状・課題	各圏域の構想やアンケート調査の結果等に基づき入力
	目指す姿	現状・課題の内容を踏まえ、圏域として目指す姿(方向性)を記入
高齢化の進行に伴い、住み慣れた地域や自宅での生活を支えるため、その受け皿となる在宅医療等の確保に向けた取組	現状・課題	各圏域の構想やアンケート調査の結果等に基づき入力
	目指す姿	現状・課題の内容を踏まえ、圏域として目指す姿(方向性)を記入
地域(市町村)における高齢者の住まいの確保等に向けた取組	現状・課題	各圏域の構想やアンケート調査の結果等に基づき入力
	目指す姿	現状・課題の内容を踏まえ、圏域として目指す姿(方向性)を記入

2 圏域内における医療機能及び他圏域との連携等の必要性

区分	指定医療機関等の名称	連携・協議が必要な圏域名(自圏域での対応が困難な疾病等)
5 疾病	がん	左記の指定医療機関等や入院患者の受療動向等を踏まえ、他圏域との連携・協議が必要と考えられる場合は、相手先の圏域名を入力
	脳卒中	
	心筋梗塞等の心血管疾患	
	糖尿病	
	精神医療	
5 事業	救急医療	※初期救急医療機関(在宅当番医)を除く
	災害医療	
	周産期医療	
	へき地医療	
	小児医療(小児救急医療)	
在宅	在宅医療	
その他	地方センター病院	
	地域センター病院	
	地域医療支援病院	
	特定機能病院	


3 将来的に不足することが見込まれる医療機能の確保対策等

(1) 病床の現況及び6年後の見込み[医療機能別]

※医療機関別の病床機能報告の結果は別紙参照

必要病床数(2025(H37)年推計)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	区域内の現況、取組の方向性等	
								0床
参考 病床機能報告(許可病床)	H28.7.1					0床	病床機能報告の結果概要を簡潔に入力(将来的に〇〇期が過剰となり、〇〇期の不足が見込まれるなど。)	
	H29.7.1					0床		
	前年比	0床	病床機能報告の結果を記入			0床		0床
	6年後(H34)					0床		

	H34-H29	0床	0床	0床	0床	0床	0床	
	H37-H29	0床	0床	0床	0床	0床	0床	



(2-①)不足することが見込まれる医療機能の把握等

不足することが見込まれる医療機能	病床機能報告以外に、将来的に不足する医療機能(患者数)を把握する方法等
地域医療構想における必要病床数や病床機能報告制度のほか、不足することが見込まれる医療需要(回復期等)について、実際にリハビリテーション等による医療提供が必要な患者数(将来推計を含む)に関して、医療関係者を中心に把握する方法等を協議	

(2-②)不足することが見込まれる医療機能の確保対策(平成30年度以降の計画も含む)

No.	医療機関名	予定時期	病床機能転換の内容	整備等の概要
1	〇〇病院	H31.8	急性期 30 床 → 回復期 20 床	地域において不足することが見込まれる回復期機能の確保を図るため、地域医療介護総合確保基金事業を活用して急性期30床を回復期20床に転換(10床は減床)。
			基金の活用	
			あり	〇年〇月〇日に説明
			期 床 → 期 床	
			基金の活用	調整会議での説明

アンケート調査の結果等に基づき入力

(2-③)不足することが見込まれる医療機能の確保に向けた取組目標及びスケジュール

医療機能	取組目標	スケジュール									
		H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	
	【2年間程度で集中的な検討】 (例)・「〇〇病院を中心とした協議」 ・「急性期医療機関を中心とした協議」 ・「不足する医療需要の実数把握の協議」 など										

(3-①)医療機関の再編・ネットワーク化に向けた動き

区分	開始時期(予定)	構成医療機関	主な目的
病院、診療所との役割分担・連携			
地域医療連携推進法人			

アンケート調査の結果等に基づき入力

(3-②)ICTを活用した地域医療ネットワークの整備状況(平成30年度以降の計画も含む)

No.	ネットワークの名称	整備年度	基金の活用	概要	登録団体・施設等

アンケート調査の結果等に基づき入力

(3-③)医療機関の再編・ネットワーク化等の取組目標及びスケジュール

取組目標	スケジュール									
	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	
【2年間程度で集中的な検討】 ★個別医療機関名を記載 (例)・「〇〇病院、□□病院、□□病院による医療機能の再編等に向けた協議」 ・「〇〇病院、◇◇診療所、△△診療所」による医療機能の集約化に向けた協議」 など										

(4)非稼働病床への対応《平成30年度中に対応方法を検討》

年次	病床機能報告制度		圏域における対応	
	非稼働病床数	前年比	検討内容	取組内容
H28				
H29		0床	アンケート調査の結果等を踏まえ、調整会議等で検討した(検討する)内容を記入 (例)・各医療機関の判断に委ねる ・国の意向を踏まえ、調整会議として通知等の対応を検討する など	
H30		0床		

4 在宅医療等の確保対策

(1)在宅医療等の必要量

区分		2018年 (H30)	2019年 (H31)	2020年 (H32)	2021年 (H33)	2022年 (H34)	2023年 (H35)	2024年 (H36)	2025年 (H37)
医療計画 (地域医療構想)	在宅医療等								
	訪問診療								
	地域医療構想掲載ベース(a)								
	新たなサービス必要量(b)								
	計(a+b)			0人			0人		0人

(2)訪問診療を実施している医療機関数

区分	H30 (H28数値)	H31 (H29数値)	H32 (H30数値)	H33 (H31数値)	H34 (H32数値)	H35 (H33数値)	H36 (H34数値)	H37 (H35数値)
施設数								
人口10万対								

※厚生労働省NDB(ナショナルデータベース)

(3)在宅医療の確保対策のスケジュール

確保対策	スケジュール								
	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
【2年間程度で集中的な検討】 (例)・在宅医療療グループ診療運営事業の推進 ・在宅医療を実施する診療所の設置促進 など									

5 地域(市町村)における取組

(1)医療と介護が連携した地域包括ケアシステムの構築に向けた基本的な考え方

市町村名	「在宅医療・介護連携推進事業」の実施内容等について
	アンケート調査の結果等を踏まえて記入 (次期市町村介護保険事業計画の内容を踏まえて記入)

(2)高齢者の住まいの確保

市町村名	取組目標		取組目標に対する達成状況
	年次	内容	
			アンケート調査の結果等を踏まえて記入 (次期市町村介護保険事業計画の内容等を踏まえて記入)

(3) その他医療・介護従事者の確保等

市町村名	対象職種	取組内容	期待される効果等
アンケート調査の結果等を踏まえて記入 (次期市町村介護保険事業計画の内容等を踏まえて記入)			

6 地域住民への広報活動

実施日	広報の種類	実施地域等	実施内容	対象人数・部数
住民説明会、広報誌掲載等の実績を記入				

7 調整会議における協議等

(1) 協議の状況

開催日	親会・部会の別	協議・報告事項	協議等の結果
当該年度の協議の状況を記入			

(2) 「新公立病院改革プラン」の進捗状況

病院名	プランの概要(地域医療構想関係)	プランの進捗状況
自治体病院と調整して記入		

(3) 「公的医療機関等2025プラン」の進捗状況

病院名	プランの概要	プランの進捗状況
公的医療機関等と調整して記入		

(4) 二次医療圏を越えた広域的な協議

開催日	協議の相手方	協議事項	協議の結果
当該年度の協議の状況を記入			

(5) 圏域内のすべての医療機関(病院及び有床診療所)の参画又は情報共有に係る取組

区 分	対 応 内 容
調整会議(親会・部会)に参加	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #90EE90; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 一般病床及び療養病床を持つすべての医療機関が参加できる取組状況を記入 </div>
説明会の開催(情報共有)	
その他	

(6) 病床機能報告制度に係る取組

区 分	目 的 等	調整会議への報告、議論の状況
未報告医療機関の解消	医療法に基づく報告義務に関する周知	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #FFD700; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 未報告の医療機関、過剰な医療機能への転換を予定する医療機関等に対し、調整会議としてどのような対応をするのかについて協議した結果を記入 (例) ・調整会議又は保健所から通知 ・調整会議での説明を求める など </div>
病棟の医療機能(病床機能報告の報告内容)の取れん	病棟の医療機能が毎年変化することのないよう周知	
6年後又は2025年に向けて、過剰な医療機能に転換を予定する医療機関への対応	構想の推進に支障のある病床転換を行わないよう周知	

8 本年度の取組に関する評価(課題)及び今後の方向性

区 分	評 価 (課 題)	今後の方向性
将来的に不足する医療機能の確保		
医療機関の再編・ネットワーク化		
ICTを活用した地域医療ネットワークの構築		
非稼働病床(病棟)への対応		
在宅医療等の確保	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #FFD700; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 当該年度における各項目別の評価と課題、その状況を踏まえた次年度以降の協議等の方向性について記入 </div>	
地域における取組(高齢者の住まいの確保等)		
地域住民への広報活動		
新公立病院改革プランの進捗		
公的医療機関等2025プランの進捗		
二次医療圏を越えた広域的な協議		
全医療機関参加型の調整会議の運営等		
病床機能報告制度に係る取組		

